

奥秩父・井戸沢

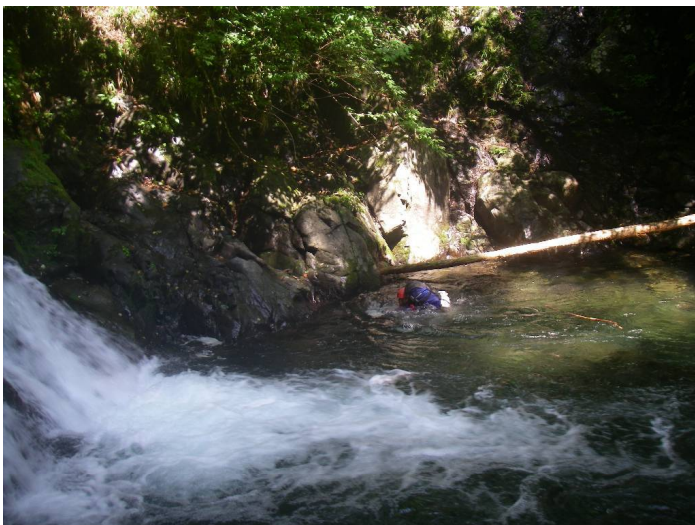
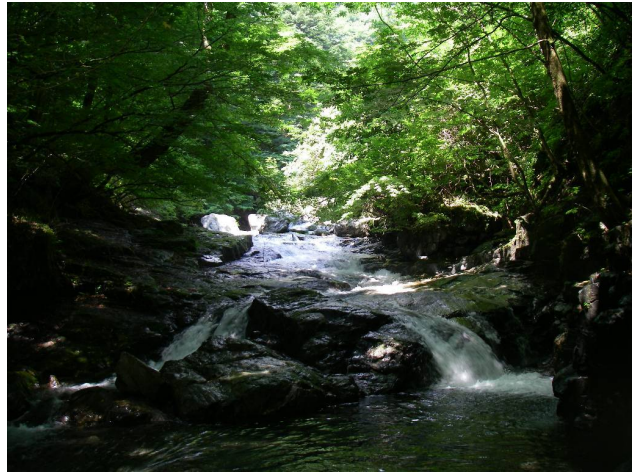
2008.7.26~27

L菊地(記) 志満、白土

7月26日(晴れ後雨)

林道ゲートのある荒沢谷出合までは道も良くすんなりと入れた。荒れた林道を40分位歩き松葉沢から本流に降り立つ。小さな堰堤を越えると穏やかな流れで井戸沢が左から交わる。暫くゴー口を行くと釜を持った小さな落ち込みが続くようになり、適度に水に浸かりながら遡行を楽しむが、あちこちにワイヤーの残骸だのトラロープの残置が目立つ。

通らずを抜け再びゴルジュに入ると、流れが左に曲がり8mの滝が豪快に水を吐き出している。右岸から小さく巻き懸垂下降で沢に戻る。その後も小さな滝や淵が現れるが、積極的に泳ぎを交えながら楽しい遡行が続く。



ゴルジュを抜けると再び穏やかなゴー口になる。夕飯の足しにと釣り竿を出しながら行くが、雷が鳴り出し大粒の雨が降ってきた。30分程大きな岩の下で雨宿りしたが、一向に止みそうに無いので先に進む。降り出してから1時間程立ち、濁りはないが水量は確実に増えている。泊まるには手前過ぎるが、明日は前新左エ門窪からエスケープする事として、椹谷を過ぎた右岸の広い平坦地で幕営する事に

した。ツエルトを張り終える頃には完全な濁流と化し石が音をたてて流れて行く。

7月27日(曇り後雨)

朝にはすっかり水は澄み穏やかな流れとなっていた。幕営地から暫く平坦地が続いたが、再びゴルジュ帯となり滝を右岸から巻いて滝上に降りる。しかしその先にも登れなさそうな滝が掛かり再び巻きに入り、ゴルジュの終わりにクライムダウンで降りる。

少しゴーロを行くと右から8m程の滝を掛けて前新左エ門窪が入る。せっかくなので登ろうと思ったが、岩がもろく水も冷たいのであっさり巻きに変更。滝上からはひたすら滝の無い小沢が続き、稜線が近くなると手ごわいツル藪が濃くなってきたので、右の尾根に逃げる。縦横無尽に走る獣道を使いそれ程苦勞せずに仙波尾根に抜けられた。

尾根の道は思ったよりはっきりしていて、地元の山岳会が手入れをしているよ



うだ。途中、背丈を越える笹トンネルを抜けると立派な広葉樹が立ち並ぶ、鹿の楽園と書かれたプレートのあるとても心地良い場所に出た。そこから尾根に登り返し井戸沢出合に戻ると雷が鳴り出したがどうにか雨は降ってこない。松葉沢から林道に上がりゲートまで僅かの所であとうとう本降りの雨となった。

地形図：雲取山、雁坂峠

コースタイム：26日 林道ゲート7：10～松前沢7：45～井戸沢8：30～名無沢10：20～キンチジミ8m10：50～梅ノ沢12：10～榎谷13：35～幕営地14：00
27日 幕営地7：30～新左衛門沢出合8：50・9：10～仙波尾根11：40・12：05～井戸沢出合15：20～林道ゲート16：00

